

# 真駒内地域 小規模校検討委員会ニュース

真駒内地域小規模校検討委員会では、子どもたちのためのよりよい教育環境の実現のため、学校統合に向けた具体的な事項について検討を進めています。

## 第8回検討委員会における検討内容

### 教育内容などの要望について

平成 21 年 10 月 13 日午前 10 時より、真駒内小学校で開催された第 8 回検討委員会では、統合後に引き継いでほしい教育活動等について話し合いました。

### 各委員から出された意見

子どもたちが「満足できる」、「良くわかる」と思える質の高い授業を今後も続けてほしい。

交流教育（学年間交流・クラス間交流・特別支援学級との交流・幼稚園や中学校・養護学校との交流・敬老会との交流など）や地域の環境を生かした教育など子どもの豊かな心を育む取組を継続してほしい。

真駒内南小で行われている開放図書館の取組は続けてもらいたい。

担任だけでなく、地域の方や退職教員など、子どもにかかわる人数を増やすなど、少人数指導に力を入れているが、このような個に応じた指導を統合校でも続けてほしい。

真駒内は、冬季オリンピックゆかりの地であることから、統合校の教育の中にもオリンピックの精神や国際交流の精神をぜひとも引き継いでいただきたい。

英語に親しみを持つことのできる環境や、保護者の皆さんが長年ボランティア活動として積み上げてきた英語活動を大切にしてほしいと思う。



保護者は、それぞれの学校に対する思いを持ち、新しい学校の保護者となるため、早い段階で保護者同士の交流を行うなど、学校間の垣根を無くす機会を設けることが必要だと思う。

家庭教育学級や各学年の読み聞かせ等 PTA の活動を含めて、できるものは早く一緒にいき、子どもたちが落ち着いて授業や生活ができるような環境を整えていきたい。

環境の変化に、なかなかなじめない子もいると思うので、特に統合当初は、スクールカウンセラーの活用等、カウンセリングの部分に力を入れていただきたい。

教育というのは、子どもが自立して生きていくためにあるので、統合校の教育では、子どもたちが自分で考え、行動することを大切にしてほしい。

統合によって、児童数も増える。環境の違うたくさんの子ともと出会って、たくましい心を身につけていってほしいと思う。

読書ボランティアやスキーボランティア、あるいは外国語が堪能な方など、地域の持っている教育力を新しい学校に結集させてもらいたい。

自分のことだけではなく、相手のことも考え、お互いに尊重し合える心を育むことができるように、学校・家庭・地域が力を合わせて、子どもたちをしっかりと育てていくことができればと思う。

学校施設の中には老朽化している部分もあるので、子どもたちが良好な教育環境の中で活動できるように、必要な改修などを行ってほしい。

良い学校ができれば、そこに通いたいという子どもや真駒内に住みたいという方もたくさん出てくるのではないかと思う。真駒内のまちづくりの観点からも、ぜひこの機会に立派な学校をつくっていただきたい。

## 第9回検討委員会について

第9回検討委員会（12月開催予定）では、これまでの検討結果を踏まえ、教育委員会へ提出する『意見書』の内容について検討を行います。

真駒内地域の皆様からのご意見をお待ちしております

ご意見は、下記の検討委員会事務局までお寄せください

事務局にお寄せいただいたご意見は、全て検討委員会に報告させていただいております

真駒内地域小規模校検討委員会事務局

札幌市教育委員会 生涯学習部計画課（配置計画担当）

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 STV北2条ビル5F

TEL 011-211-3836 / FAX 011-211-3837

E-Mail haichikeikaku@city.sapporo.jp

これまでの検討委員会ニュースにつきましても、札幌市教育委員会ホームページに掲載しています。  
[http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/shokibo\\_kentou.html](http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/shokibo_kentou.html)